

新市建設計画進ちょく状況に対する 新南陽地区地域審議会委員からの 意見集約

【全体として】

ハード事業の未実施事業全体について

新市建設計画の未実施事業のなかで、今後の予定が事業の廃止とか、今後も予定なし、あるいは今後の方向性について検討を行う予定である、というものは早急にこの計画から削除すべきと考える。

ソフト事業について

ソフト事業についても、最初の計画をすべて実施することが望ましいが、財政の事情、費用対効果、利用者の心理など、考える時期と思う。

~~~~~

## 【ハード事業】

### ハード事業 No.4：和田地区総合庁舎整備事業について

和田支所、公民館を1つの建物内において適用する。集会室（多目的ホール）を1階に置き災害時に避難所として利用できるようにする。概要については、進捗状況調査票のとおりだが、場所については国道376号沿いの夏切あたりが適当と思われる。

### ハード事業 No.6：福川駅前周辺整備事業について

駅前の信号の所が、自動車と歩行者が別信号になっているが、歩行者や自転車が駅前側で信号待ちをする場所が狭いと思う。また、駅から西の踏切までの間の歩道も、とても狭い。

旧新南陽市時代からも整備の声が出ているようだ。検討するとあるが、いつごろ、どのようになるのか。

### ハード事業 No.6：福川駅前周辺整備事業について

駐輪場が作られたが屋根施設はできないのだろうか。検討していただきたい。

#### ハード事業 No.6：福川駅前周辺整備事業について

今までの進め方ではなく、全く新しい視点・発想・人による見直しが必要ならば、今後の進展はないと思われるが、どのように考えるか。

#### ハード事業 No.20：羽島住宅地建替事業について

建て替えよりも、1棟空家にして、老人保健施設などに改造して転用することはできないものか検討すべきではないかと思う。

#### ハード事業 No.20：羽島住宅他建て替え事業について

必要な補修は続行されるが、長期的視野で考えると、今後は緑地化として整備することが望ましいのではないか。

1. 人口減 2. 高齢化 3. 老朽化 が考えられる。

#### ハード事業 No.29：辰尾公園整備事業について

まず、国道2号線側から、車道は無理なら歩道の設置ができないものだろうか。

#### ハード事業 No.74：デイサービスセンターについて

新南陽地域の場合、三世代交流センターを中心に介護保険非該当者のデイサービスが社会福祉協議会の事業で行われている。

参加者は、とても喜んでおられるが、まだ知っておられない方もいると思うので、市と共同で広報活動をしてほしいのでは。

#### ハード事業 No.100：青少年研究施設について

大田原自然の家が老朽化しているのに、宿泊学習に使用しているのは不安である。

#### ハード事業 No.103：防災行政無線施設整備工事について

いつ襲ってくるか分からない自然災害に備えて、整備しなければいけない所があれば、整備する必要があると思う。

#### ハード事業 No.103：防災行政無線施設整備工事について

一刻も早く工事に着工してもらいたい。

**ハード事業 No.103：防災行政無線施設整備工事について**

防災情報の市民への早期伝達方法と、今後の地域防災組織の取り組みに対し、早急に構想を策定し、整備を図っていただきたい。

**ハード事業 No.138：福川漁港関連施設整備について**

約25,000平方メートルと思えるが、たとえば、メガソーラを設置し、見学学習の場としたらどうか。

**ハード事業 No.151：富田地区コミュニティセンター整備事業について**

旧新南陽地区の公共施設から分離した地域コミュニティの醸成を図る施設として最初に計画し、用地も確保した経緯もある。また今では富田西部地区区画整理事業も順調に進ちょく状況にあり、条件も整ってきたと考えられるので、早急に取り組んで頂きたい。地元関係者も待ち望んでいる。

~~~~~

【ソフト事業】

ソフト事業 No.5：公共交通機関の拡充整備について

徳山市内を動いている街なかふれあいバス「ぐるぐる」があるが、便利に使っている方もあるようだ。ステップが高いのか、高齢者が降りるとき転ばれたことがあったが、死角になっていたのか、乗務員の方は気が付かなかったことがあったようだ。

ソフト事業 No.5：国際交流事業について

- 1) 市民の中に、現状のままなら無意味な事業との声や意見があるが、どのように考えるか。
- 2) 今後とも、今のまま続けるつもりなのか。
- 3) 新しい展開を持つ事業にするのか。

ソフト事業 No.10：人材の育成について

人によって担われるのがソフト事業だが、公務員退職者の姿が少ない。在職中に地域活動を含む各種団体で活動する習慣を身につけないと、退職後、活動することはできない。

特に異なる職種、文化の人々と交りあう術を在職中に学ぶことが、行政人として必要であり、職場の活性化につながると思う。

ソフト事業 No.14：ボランティアバンクの設置について

バンクの人員を飛躍的に増やし、公開し、活用することが最重要。

1, 0 0 0人以上あってはじめてバンクができたといえる。3 4人でおおむね実施とあるがどういうことか。

ソフト事業 No.14：ボランティアバンクの設置について

ボランティアという言葉が抽象的のような気がするため、ボランティアの内容や対象者を明確に知らせてはどうか。

おおむね実施ということは利用者もあるということなのか。

ソフト事業 No.23：学校教育への住民による地域教育を導入について

「学校運営が実施されるとともに、地域の人材教育資源を活用した開かれた学校づくり」を行った。云々。

学校運営協議会、云々とあるが、現状では学校は「独立王国」となっている。教員は狭い社会に納まっている。これでは“開かれた学校”には行きつかない。

ソフト事業 No.40：安全な避難場所の適正配置について

場所として、小・中学校、公民館など公共施設が指定されているが、実際には身近な場所、すなわち企業などの施設に避難できるよう行政のほうで協定を含めて、企業側に働きかけてもらいたい。

ソフト事業 No.49, 50：地域農林産業の振興について

高齢化が進み、後継者がいなくなっていく。育てる、造る農・水産業を発展させるために、行政のほうで公設市場などの設置、後継者育成の手立てができないものかと思う。

【その他の意見】

生活交通について

あったか便の実証運行を行ってはみたが思わしくなかった。さまざまなことを言っているうちにも高齢化は進み、独居者も増え、商店もしだいに閉店し、医者も高齢になり、安全で安心して暮らせるには程遠い。何とかならないか。

老朽化した橋の架け替えについて

夏切地区にある「おちあい橋」と「夏切橋」は、いずれも昭和28年に架けられたもので、コンクリートは剥がれ落ちバスが通れば揺れるようだ。幅も狭く新しく架け替えて安心して渡れるようにしてもらいたい。